



平成 25 年度センターご利用状況	
(10 月末日現在)	
登録団体数:	172 団体
会議室利用件数(延べ):	1,478 件
利用人数(延べ):	21,177 名

2Weekパネル展を開催しました!

9月22日～11月16日まで、センター内にてパネル展が開催されました。

奈良市内で活動している団体さんが自分たちの紹介やPRを行える機会を、と企画。予定していた30の枠を大幅に超える46の団体さんにご応募いただき、2週間ずつ展示をしてもらいました。

今回は公募という形だったこともあり、今までセンターを利用していなかった団体さんの参加もたくさんありました。私たちスタッフにとっても、まだまだ知らない活動があるんだなあといへん勉強になりました。

どの展示も本当に「いろいろどり」。たくさんの写真でダイレクトに活動の様子を伝えている展示もあれば、クイズで楽しませてくれた展示、メンバーさんの人柄が伝わるような手書きの展示…これぞ個性の玉手箱や!といった感じでしょうか☆



自分たちの団体を紹介する、というのは実はとても難しいものです。

まったく何も知らない相手に対して、一から説明しなくてははいけません。趣旨、目的、活動内容、メンバーのこと、雰囲気…なるべく難しい言葉を避けて、わかりやすく伝えないとなかなか理解してもらえないのが実情です。それも簡潔に。長つたらしい説明は相手との距離感を広げてしまい、かえって苦手意識を持たれてしまうことも少なくありません。(苦い経験を持つ団体さんもいるのでは…?)

今回は、全体的にとっても相手に伝わりやすい展示が多かったような気がします。中でも、「誰かに見せる」という意識を持って工夫を凝らしていた展示の前では、より多くの市民の方が足を止めておられました。また、出展した団体さんからは「魅力的な展示があって刺激になった!」との声も聞かれ、スタッフとしても、今後ますますの飛躍が楽しみだと感じました。

普段の活動の中でも、魅力的な「見せ方」をいつも心がけていきたいものですね。



ボランティアインフォメーションセンターのワザ! (第1回)

このコーナーでは、当センターのいろんな使える「ワザ (=機能)」を順次ご紹介していく予定です。記念すべき第1回目のワザは『相談』です!

団体さんやボランティアさんが日々活動する中で、さまざまな課題に直面して悩むことって、少なくないのではないのでしょうか。そんなときは、ぜひ当センターの窓口へお立ち寄りください!

当センターのボランティアコーディネーターが、あなたからのご相談(※)を今か今かとお待ちしております。相談はモチロン、ちょっとした小話や簡単な質問、お問い合わせなど、どんな小さなコトでも結構です。ぜひお気軽に窓口のスタッフまで声をかけてくださいね!



※資料の準備等がありますので、できれば事前にお電話をいただくと助かります。

第8号の内容

【第1面】

- ・パネル展開催報告
- ・センター機能紹介

【第2面】

- ・団体紹介記事
関西ワンディッシュエイド協会
奈良市支部
秋篠川の源流を愛育てる会
なら子育てネットワーク

【第3面】

- ・地域ではぐくむ子どもたち
- ・NPOってなんだろう!

【第4面】

- ・お知らせ! 情報コーナー

ボランティア入門講座
情報コーナーの
おすすめ本!
ボランティア活動先一覧

《雑感》
ボランティアって?
奈良市協働推進課
主幹 石崎正元

・編集後記

団体さん！こんにちは

奈良市内では、たくさんの団体さんがさまざまな活動をしています。

当センターも、たくさんの団体さんがさまざまな活動に利用しています。この「団体さん！こんにちは」では、そんな団体さんを紙面で紹介し、活動を応援していきます！

今回の「こんにちは」は・・・

- ・ NPO 法人関西ワンディッシュエイド協会
奈良市支部
- ・ 秋篠川の源流を愛し育てる会
- ・ なら子育てネットワーク

の3 団体を取り上げます。



NPO 法人 関西ワンディッシュ エイド協会 奈良市支部



もったいない陶器市

皆さんは、家庭で不用になった食器をどうされていますか？

捨てるに捨てられず、食器棚がいっぱいで困っている人、もったいないと思いつつ泣く泣く捨てている人、バザーに出したり友人と交換している人…様々だと思います。

この団体は、そんな『もったいない』という気持ちを行動に移し、陶磁器の食器のリユース（再使用）、リサイクル（再資源化）の活動として、毎月10日10時～13時、コープおしくま店店頭にて「もったいない陶器市」を開催しています。

家庭で不用になった食器を回収し、まだ使えるものは再び使っていただくことを最優先にしています。それでも残った食器は岐阜県の再処理工場に送り、再資源化することで再び器の材料にしています。そして、将来的にはそのような循環型社会の仕組みを作りたいと願っています。

身近な食器をリユース・リサイクルすることにより、経済的で効率的、なおかつ環境負荷の軽減に貢献できるというやりがいがある、『やらなきゃ損！』という思いがメンバーの原動力であると感じました。

家庭で不用になっている食器を持って、ぜひ『もったいない陶器市』をのぞいてみてください。

秋篠川の源流を 愛し育てる会



活動風景

主な活動は秋篠川の美化活動。毎月第3土曜日の朝8時30分から1時間ほど、泉橋の上・下流約1.5kmの川岸と周辺道路のゴミを拾い、水質チェックもします。毎回およそ30名の参加者があり、その全部がボランティアです。小学生から80歳代まで幅広い年齢層の参加があります。わいわいと集う中心メンバーの仲の良さが会をしっかりと支えています。

会結成の平成8年当時、川岸には大型ゴミ（産業廃棄物？）や自転車（盗難車？）が放置され、ペットボトル、ビニール袋なども散乱しており、川の水も今よりずっと汚れていました。それらのゴミを引き上げ、拾い集めました。併せて地域住民を中心にしたオーナー制により、川岸に154本の桜の苗木を植えました。

現在苗木は見事な桜並木となり、春には桜祭りが開かれます。岸边にはタンポポ、カンゾウ、ススキといった四季折々の花が溢れ、夏には蛍が飛び交い、川遊びをする子どもの姿もみかけるようになりました。ボランティアの力ってすごいですね！

最近一番多いゴミは、タバコの吸殻です。「500mほどの間に1200個以上も落ちていた。水質への影響も気になっている」とのこと。

私たちの川、みんなで大事にしたいですね。

なら子育て ネットワーク



美容師を講師に招いた
ヘアアレンジ講習会

奈良市内には、子育ての不安の解消や、育児の楽しみを仲間と共有するために、子育てサークルがあります。「活動を充実させるには？」「運営者一人の責任が重くなって親子で楽しめない」「子どもがサークルに通う時期が過ぎると、サークルが消えてしまう」など、悩むことも少なくありません。そのため、運営への適切なサポートを受けることが大切になってきます。

「なら子育てネットワーク」では、サークルの運営者だけで問題を抱え込まないよう相談に応じ、活動に役立つ情報の提供やサークル同士の交流、子育てを支援してくれる地域の人を繋ぐなどの調整をしています。また、支援者同士の情報交換とスキルアップのために勉強会も行っています。

サークル支援以外には、0歳児親子「ちっちゃいもんクラブ」や1歳半から4歳児親子の「ハグハグ」などのサークル運営や、済美幼稚園の空き教室で開催される子育てスポット広場の運営など、子育てに役立つ情報交換と交流の場を提供しています。

「子育てネットワーク」の取り組みは、楽しい「グループ子育て」をするための、大きな支えになっているようです。

地域ではぐくむ子どもたち

アルミ缶回収で車椅子贈呈 100台突破！

月ヶ瀬中学校の進藤 幸 校長と月ヶ瀬地域教育協議会の徳家眞総合コーディネーターにお話をお聞きしました。

今回は持続可能な「アルミ缶回収」の取組が17年目で「車椅子の寄贈100台突破！」となった活動をご紹介します。

◆地域の協力は抜群です…

毎月初め、地域の方々が集めていただいたアルミ缶が集配所に集まります。地域の人々も協力的。「ここが月ヶ瀬の伝統的な地域性のいいところ」。(徳家さん)

◆アルミ缶が車いすに変わり人の役に立てる…

夏は缶飲料を飲む機会が多いのでアルミ缶がすごく多いそうです。中学校に集まった大量のアルミ缶を潰し、アルミ工場へ。回収や再生工場への搬入に、地域の「愛歩21」というグループがボランティアとして協力しています。アルミ缶回収の収益は、特別養護老人ホーム「香梅苑」や月ヶ瀬福祉センター等に車椅子などの福祉機器として寄贈されています。



校長先生と徳家さん

生徒によるアルミ缶回収の様子

17年目を迎えた平成24年度には、なんと車椅子等の台数は102台に達しました。子どもたちからは、「ゴミになるアルミ缶が車いすに変わり、人の役に立っていることを知って、アルミ缶回収活動の大切さを感じた」との声があったようです。

◆第3回持続発展教育(ESD)大賞を受賞

これらの取組により、月ヶ瀬中学校は昨年度、第3回持続発展教育(ESD)大賞を受賞しました。

進藤校長がおっしゃるには、月ヶ瀬には、アルミ缶回収以外に、「梅取り体験」、「お茶摘み体験」などがあり、持続発展教育の枠組を使って伝統として続く活動の見直しを行っているとのこと。



受賞の様子



車椅子寄贈の様子

◆島根県で安来節…「これだっ!!!」

また、徳家さんは「島根県で安来節の踊りを高校3年生が伝統的に学ぶことになっていて、島根県人はどこに行っても安来節が踊れて、自分の故郷を誇れる」と聞いて、「これだっ!」と地域教育の重要性を感じられたそうです。月ヶ瀬中学は全校43名の少数校だが、マンモス校に育った子どもたちにも負けないと自負を持って欲しいとのこと。

月ヶ瀬は、過去に文人墨客が訪れ、全国的にも有名な梅林の名勝で、こんな風に自分の故郷を誇れるという地域教育をめざしていきたいと話されたのが印象的でした。

NPOって何だろう!?



NPOにとって、助成金は重要なファンドレイジング手法のひとつです。そこで、今回は先日開催された「助成金チャレンジ講座」より、助成金申請のポイントをまとめました。

経済成長ですべての課題を乗り越える時代が終わり、課題や矛盾が噴出している現在、市民の多様なかわりが時代の必然として登場してきている。

そんな市民活動を行政や企業が後押ししていく時代となり、奈良の地域のデザインも市民のボランティアな活動の中から、見えてくると思われる。

ところが一旦お金の話になると、なかなか苦労されている団体が多い。また、活動が大きくなってくると様々な種類のお金が必要となってくる。

その中でも助成金の申請にあたっては、次のようなポイントがある。

(1) 全体を見渡した企画プラン

- ビジョンやミッションに添ったプランであることが最も大事。
- 助成金を受けている間に、次の事業の自主財源を開発しようとしているか。
- ビフォーアフター…この活動を通して地域の課題をこうしたいというメッセージの見えるもの。

(2) 助成する側を知る

- 何を求め、助成金を出そうとしているか(テーマ)を知る。
- 募集要項をよく読みこむ。
どんな分野の助成か?新規プログラムか団体の助成か?プレゼンや報告の有無等。
- “生きるお金”として成果を求める…社会にこんな変化をもたらしているというものがほしい。
- 助成する側は助成したがっている。
- 過去の助成を受けた団体を調べ、方向性をみる。

(3) プレゼンテーションについて

- ことばが大事…助成する側の意図をよんだ“ことば”を見つける。
- 審査委員の質問は助け船…慌てず、ゆっくり答えたらよい。

最後にプランを立てる時は、力をもった人が一人で作ることが多いが、是非みんなで作ってほしい。一緒につくることで、話がいっぱい出る。

また周辺に仲間はいっぱいいるので、他の団体と連携すると広がりや発展性が見えてくることも、助成する側に響きやすい。



お知らせ！情報コーナー

毎月25日は…ボランティア入門講座

情報コーナーのおすすめ本



ボランティア活動先一覧
を活用しませんか！

日時：

12月25日（水） 13:30～15:30

1月25日（土） 10:00～12:00

2月25日（火） 13:30～15:30

3月25日（火） 18:30～20:30

場所：

ボランティアインフォメーション
センター会議室

申込：

講座名、開催日、氏名（ふりがな）

電話番号を明記の上、電話かFAX

・Eメールでお申込み下さい。

締切：各開催日の1週間前まで

「難民キャンプの子どもたち」

著者 田沼武能

出版社 岩波新書

「PEACE ONE (平和がいちばん)」。
子どもたちを訪ね、白い紙にほしい
ものを書いて私たちに見せていた。
人類が幸せになるには、「平和」し
かありえない。
それは大人たち
すべての責務だといえよう。長年に
わたり、世界の子どもたちを撮り続
けてきた、私の結論である。



ボランティア
を探している
んですけど



※ボランティア活動先一覧は、当センター他
市内公民館・大学等に設置しています。奈良
市ホームページにも掲載しています。

《雑感》 ボランティアって？

奈良市協働推進課

主幹 石崎正元

ボランティア？

見返りを求めない？

まずやってみよう！



このセンターに4月から勤務している。「ボランティアのことで聞きたいのですか？」よくセンターに問い合わせがあるが、ふと「ボランティア」という言葉が引っかかる。「んんっ、ボランティア？」これまで何回も耳にしている言葉であるが、じっくりと考えたこともなかった。「ボランティアって何？」と聞かれて咄嗟に言葉の意味を説明できるであろうか。すぐには「無償の奉仕活動？」なんて、曖昧な答えしか思い浮かばない。ある人いわく。「見返りを求めない活動」。見返りを求めなければボランティアなのか？う～ん、あまりにも一般的。まだ納得できない。そもそも「ボランティア」という言葉は、たいそう使い勝手がいいが、善し悪しははっきりしている言葉でもない。

なぜか？「ボランティア」という言葉は、曖昧且つ抽象的で、人によって定義がはっきりしていないからであろうか。

ここでふと思った。「あれこれ考え込まずに、まず行動を起こせば、その答えが出るかも」と。さて、あなたにとっての「ボランティア」とは？

奈良市ボランティア インフォメーションセンター

連絡先

〒630-8122

奈良市三条本町13番1号はぐみセンター1階

開館時間：9:00～21:00（月～土曜日）

9:00～17:00（日曜・休日）

休館日：年末年始

TEL：0742-93-8435 FAX：0742-34-2336



※駐車場の駐車台数には限りがございます。できるだけ公共交通機関をご利用下さい。
（満車の場合は、周辺の有料駐車場をご利用いただくようお願いいたします。）

【編集後記】

巷では秋たけなわ。実りの秋となりましたが、皆さんのボランティア活動の方はいかがですか。大きな収穫はありましたでしょうか？

当センターでは、「2Week パネル展」や「1day ブース展」など、大いに盛り上がりしました。

誰しも、日頃の成果を存分に披露したいものですね！



奈良市ボランティアインフォメーションセンター

検索

